

Ⅱ・Ⅲグループの動詞



マス形から辞書形の作り方

“ます”を取って、“る”をつけます。

例) 見^みます→みる、寝^ねます→ねる、食^たべます→たべる、やめ^めます→やめる

♪Ⅲグループはさらに“ます”の前の母音が[i]から[u]に変わります。

例) し^きます→する、来^くます→来る



マス形からテ形の作り方

～ます + 「て」→「～て」（“ます”を取って、“て”をつけます。）

例) 見^みます→みて、寝^ねます→ねて、食^たべます→たべて、やめ^めます→やめて

例) し^きます→して、来^きます→きて



マス形からナイ形の作り方

マス形とナイ形は同じ形です。

例) 見^みます→みない、寝^ねます→ねない、食^たべます→たべない、やめ^めます→やめない

♪Ⅲグループの「来ます」は“ます”の前の母音が[i]から[u]に変わります。

例) し^きます→しない、来^きます→こない

★Ⅱ・Ⅲグループの動詞について、マス形から、辞書形・テ形・ナイ形・「ナイ形+ないでください^{注1}」と続けて練習しましょう。

♪動詞の活用形はアクセントに規則性があります。



アクセントの法則5

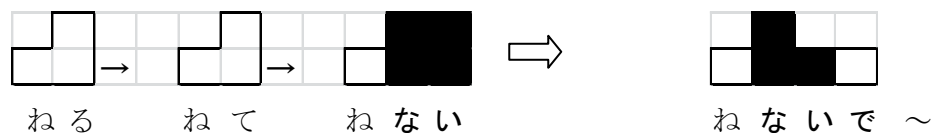
辞書形が【b】型のとき、活用形も“下がり目”がない【b】型が多いです。

(1) “～しないこと”を人をお願いするときの言い方。家族や親しい人には「～ないで」とも言います（例：もう泣かないで。こっちを見ないで!）。

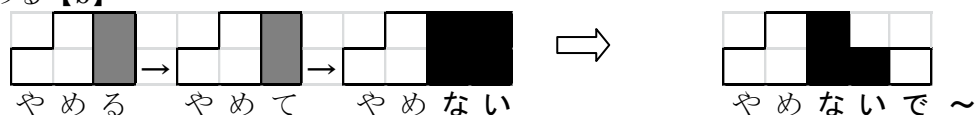
にほんご発音ラボ

しかし、「～ないでください」の文型では「～な^{ぶんけい}いで^{かこう}」と下降します。

例) 寝^ねる【b】



例) やめる【b】

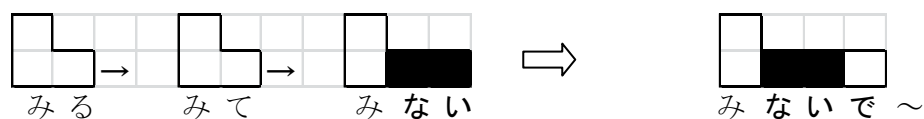


アクセントの法則6

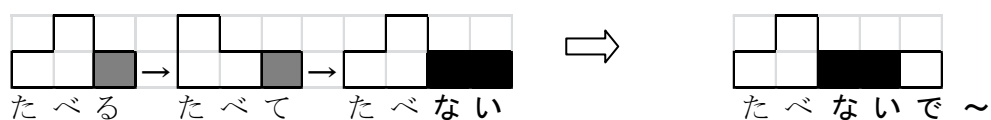
辞書形が【a】・【c】型^{じしょけい}のとき、活用形も“下がり目”^{がた}があります。^{かつようけい}

「～ないでください」の文型もナイ形と同じ“下がり目”です。「ない」「ないで」は全部低くなります。^{ぜんぶひく}

例) 見る^み【a】



例) 食べる^た【c】



例) 別れる^{わか}【c】⁻²



確かめましょう

①～⑤の辞書形をテ形・ナイ形・「ナイ形+ないでください」に換えて言いましょう。

- ① 来る^く【a】 ② する^す【b】 ③ 開ける^あ【b】 ④ 起きる^お【c】 ⑤ 忘れる^{わす}【b】

確かめましょうの答え：「ナイ形+ないでください」①こ^こないで～ ②し^しないで～ ③あ^あけな^{けい}ないで～

④お^おき^きないで～ ⑤わ^わす^すれな^なないで～